

プログラム

会長講演 5月11日(土) 9:30～10:30

第1会場(講義棟2階 2601教室)

言語障害児への早期発見早期介入とチームアプローチの重要性

小坂 美鶴 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科

特別講演 5月12日(日) 10:30～11:50

第1会場(講義棟2階 2601教室)

司会：小坂 美鶴(川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部)

ASDのコミュニケーション支援 —TEACCH Autism Programの視点から—

諏訪 利明 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科

教育講演1 5月11日(土) 10:40～11:50

第2会場(講義棟4階 4601教室)

司会：大井 学(子どものこころの発達研究センター)

扁桃体とコミュニケーション

彦坂 和雄 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 視能療法学科

教育講演2 5月11日(土) 13:00～14:10

第1会場(講義棟2階 2601教室)

司会：吉畑 博代(上智大学 言語聴覚研究センター)

成人脳損傷者における認知コミュニケーション障害の諸相

種村 純 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科

司会：小坂 美鶴(川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部)

子供の気質的特徴とコミュニケーション —臨床との出会いから研究を通して明らかとなったこと—

武井 祐子 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科

司会：種村 純(川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部)

地域包括ケアにおける多職種連携

S1-1 医療介護連携 —倉敷地域の医療介護連携シートについて—

川崎医科大学 リハビリテーション医学 阿部 泰昌

S1-2 市町村の介護予防の取組に求められるリハ職の役割とは

岡山県 保健福祉部 長寿社会課 坂井 容子

S1-3 介護予防から始まる地域づくり

津山市こども保健部健康増進課 兼 環境福祉部高齢介護課 安本 勝博

S1-4 地域リハビリテーション活動支援事業への参画と連携

学校法人国際医療福祉大学 介護老人保健施設マロニエ苑
リハビリテーション室 黒羽 真美

司会：中島 英彦(倉敷市保健福祉局 子ども未来部子育て支援課)

乳幼児健診における多職種連携

S2-1 玉野市内における乳幼児期からの支援体制について ～発達障害支援コーディネーターの役割～

たまの発達障害者支援センター 発達障害支援コーディネーター 間庭 英明

S2-2 乳幼児健診後のフォロー体制 ～にじいろ教室におけるとりくみ～

児童発達支援事業所「すたあと」 長谷川友香

S2-3 大山町での5歳児健診 ―5歳児健診における多職種連携―

鳥取県大山町役場 こども課 金田 夏美

S2-4 5歳児発達相談における多職種連携

鳥取県倉吉市健康福祉部保健センター 芦崎 和恵

分科会 5月11日(土) 16:30～17:40

言語発達障害研究分科会

第2会場(講義棟4階 4601教室)

吃音および流暢性障害研究分科会

A会場(講義棟4階 4602教室)

特別支援教育協働分科会

B会場(講義棟4階 4603教室)

重度重複障害のある子の
コミュニケーションを考える分科会

D会場(本館棟4階 4001教室)

※重度重複障害のある子のコミュニケーションを考える分科会主催の
イベント

日時:5月12日(日) 10:00～14:00

場所:厚生棟3階ミルキャン(懇親会の会場と同じです)

講習会 5月11日(土) 16:30～17:40

口蓋裂言語検査講習会

C会場(講義棟3階 3603教室)

一般演題（口頭発表）

第1日目 5月11日(土)

訪問・地域連携（小児） 10:40～11:20

第1会場（講義棟2階 2601教室）

座長：山本 正志（NPO 法人コミュニケーション・アシスト・ネットワーク
ことばの相談室ひなたぼっこ）

- 10-01** AACを導入してコミュニケーションが可能となった
先天性多発性関節拘縮症の幼児について
—訪問による実践—

あいりず訪問看護ステーション 木下 亜紀

- 10-02** 当院 ST 小児部門の拡大に向けた取り組み
～地域の現状をふまえて～

医療法人社団明芳会 横浜旭中央総合病院 渡部梨沙子

- 10-03** 自閉症幼児のコミュニケーションの広がりを目指して
（動作法を中心としたかわりから）

尚綱学院大学 人間心理学科 三好 敏之

- 10-04** 地域包括ケアシステムでつながった「ちょうだい」のサイン
～療育資源の乏しい地域での困難事例～

社会医療法人清風 日本原病院 平尾 由美

吃音 9:40～10:30

第2会場（講義棟4階 4601教室）

座長：原 由紀（北里大学 医療衛生学部）

- 10-05** 吃音のある成人の日常生活における注意バイアスと
コミュニケーションの満足度との関連

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 灰谷 知純

- 10-06** 発達障害を併せ持つ成人吃音者に対する支援

近畿大学医学部附属病院 久保田 功

- 10-07** 吃音者の就労での悩みや周囲の理解に影響を与える要因の検討

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 飯村 大智

10-08 保育士・幼稚園教諭向けの吃音パンフレットの有用性

国立障害者リハビリテーションセンター 酒井奈緒美

10-09 吃音に他の問題を重複する児童の実態

筑波大学 人間系 宮本 昌子

学習言語の基礎 13:00～13:40

第2会場(講義棟4階 4601教室)

座長：石坂 郁代(北里大学 医療衛生学部)

10-10 ASD 児の semantic field の狭小化と偏りについて

川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科 感覚矯正学専攻 中田 薫

10-11 絵本の読み聞かせ ～読み方の違いが内容理解におよぼす影響～

社会福祉法人愛育会 のぞみ保育園 入江 浩子

**10-12 ダイナミックアセスメントから捉えた学習言語の習得と躓きⅠ：
就学頃の定型発達児の様相および年長児の事例**

大阪芸術大学 田中裕美子

**10-13 ダイナミックアセスメントから捉えた学習言語の習得と躓きⅡ：
小2の事例**

DIVERSE・ダイバース 松浦 千春

聴覚障害 13:40～14:30

第2会場(講義棟4階 4601教室)

座長：國末 和也(広島国際大学 総合リハビリテーション学部)

**10-14 包括的領域別読み能力検査による学齢聴覚障害児の日本語読み能力の現状
第二報**

愛媛大学 教育学部 加藤 哲則

**10-15 包括的領域別読み能力検査による学齢聴覚障害児の日本語読み能力の現状
第三報 一読解モデルの構築一**

東北大学大学院 教育学研究科 川崎 聡大

10-16 聴覚障害者の日本語単語アクセントの知覚における
ピッチレンジと発話持続時間の影響

上智大学大学院 言語科学研究科 言語学専攻 言語聴覚研究コース 相川 真澄

10-17 聴覚障害児の話者の男女識別能力に関する検討
— 健聴児と補聴器装用児の比較 —

国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科 佐藤 友貴

10-18 軟骨伝導補聴器装用による学童期の補聴効果の検討

川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科 川上 紀子

第2日目 5月12日回

自閉症スペクトラム障害 9:10～10:10

第1会場(講義棟2階 2601教室)

座長：藤野 博(国立大学法人東京学芸大学 特別支援教育)

20-01 ASD 児における LC スケールと WISC- IV の関連
～就学前児を対象として～

一般財団法人 倉敷成人病センター 高山 充樹

20-02 ASD 児における LC スケールと WISC- IV の関連
～2つの検査間に差のある児の言語特徴～

一般財団法人 倉敷成人病センター リハビリテーション科 秋山 洋子

20-03 会話の場と会話の流れ
—自閉症の子の会話を指導するための理論的考察2

NPO 法人コミュニケーション・アシスト・ネットワーク
ことばの相談室ひなたぼっこ 山本 正志

20-04 自閉スペクトラム症に cluttering 様発話を呈した
—症例に対する Rap 調音読を用いた発話速度訓練

重井医学研究所附属病院 友野 祐喜

20-05 自閉スペクトラム症児の母親支援の検討 —構造化を利用して—

医療法人 こまごえ医院 村松 幸代

20-06 マカトンシンボルを用いた算数指導

社会福祉法人すずらの会 岡本 朗子

言語発達 I 9:10～9:40

第2会場(講義棟4階 4601教室)

座長：内山 千鶴子(目白大学 保健医療学部)

20-07 二語文の多様性による早期文法発達評価
～文研研究から臨床における試行的実践～

埼玉県立小児医療センター 遠藤 俊介

20-08 日本語を母語とする典型発達児3名の平均発話長の推移

川崎医療福祉大学大学院 医療技術学研究科 感覚矯正学専攻 山崎 志穂

20-09 ダウン症児の構文理解の発達と言語性短期記憶の関係

東京通信病院 石上 志保

- 20-10** 統合的フォニックスの指導効果の日本語・英語課題での比較検証
新潟大学 教育学部 入山満恵子
- 20-11** 数的イメージの形成が弱い算数障害の1例
目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科 内山千鶴子
- 20-12** 就学後に構音障害を主訴として来院した2症例の構音障害の特徴について
学校法人 川崎学園 川崎医科大学附属病院 小野亜里沙
- 20-13** 音声言語と文字言語に乖離を認めた脳性麻痺児に対して
早期文字導入を試みた一例
公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 松尾 基史

- 20-14** 聞き返し訓練〈確認の技〉の就労における役割
なやクリニック 蜂谷 敦子
- 20-15** 右半球損傷患者における談話特徴と認知機能の関連性を検討した1症例
川崎医科大学附属病院 桐谷 光
- 20-16** 失語症者のグループ活動におけるコミュニケーションの困難と
その解決について
上智大学大学院 言語科学研究科 言語学専攻 言語聴覚研究コース 加藤みどり
- 20-17** 加齢およびアルツハイマー病が意味知識におよぼす影響：
feature listing による生物・人工物領域間の比較
県立広島大学 保健福祉学部 コミュニケーション障害学科 津田 哲也

座長：中村 光(岡山県立大学 保健福祉学部)

20-18 タブレット用認知リハ課題アプリケーションソフトの開発
—課題ごとの成績における尺度化の検討—

川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科 戸田 淳氏

20-19 失語症者の階層性アプリの操作能力：ハード面からの分析

県立広島大学 保健福祉学部 コミュニケーション障害学科 白川由莉奈

20-20 血管性認知症とアウェアネス障害により自宅退院に難渋した症例

川崎医科大学総合医療センター リハビリテーションセンター 村上 琴美

20-21 PQRST 法による内的記憶方略を活用した健忘症の症例

社会医療法人宏潤会 大同病院 リハビリテーション科 堀池 正太

構音・音声・摂食嚥下障害 14:30～15:10

第2会場(講義棟4階 4601教室)

座長：矢野 実郎(川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部)

20-22 代替コミュニケーション導入に難渋した重度運障害性構音障害症例を
経験して

川崎医科大学総合医療センター リハビリテーションセンター 中上 美帆

20-23 侵襲的人工呼吸器装着下にて、様々な音声代替手段を使用した一症例

国立病院機構 大牟田病院 リハビリテーション科 武末史知子

20-24 進行性疾患で侵襲的人工呼吸器管理となった患者へのカニューレの
サイドラインを用いた送気発声の取り組み

国立病院機構 大牟田病院 リハビリテーション科 酒井 光明

20-25 重度の摂食嚥下障害・音声障害を呈した若年ワレンベルグ症候群の
一症例に対する社会復帰支援の取り組み

千里リハビリテーション病院 熊倉 勇美

一般演題(ポスター発表)

第1日目 5月11日(土)

ポスター会場(講義棟3階 3602教室)

失語症・コミュニケーション障害 12:00～12:30(質疑応答)

1P-01 語用論的能力が保たれた重度失語症例

川崎医療福祉大学 医療技術学部 感覚矯正学科 植谷 利英

1P-02 重度失語症者の検査上での活動と生活場面での活動の差についての検討
～CADLとFQの比較を通して～

熊本保健科学大学 保健科学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 畑添 涼

1P-03 失語症における擬音語・擬態語の理解について

愛知淑徳大学 健康医療科学部 澤田 果歩

1P-04 一流暢性失語症者における名詞と動詞の呼称障害について
—誤りの特徴に着目して—

愛知淑徳大学 健康医療科学部 奥野 絃那

1P-05 意味性認知症者の会話について
—会話中に生じた問題の修復に着目して—

愛知淑徳大学 健康医療科学部 医療貢献学科 言語聴覚学専攻 柴田 沙樹

1P-06 意思表出困難を伴った高次脳機能障害例に対して行った
約3年のコミュニケーション支援の経過

医療法人光洋会 赤間病院 横山 典子

吃音・音声障害 12:00～12:30(質疑応答)

1P-07 ICFに基づく多言語環境下における吃音のある児童の評価

首都大学東京大学院 人文科学研究科 言語科学教室 矢田 康人

1P-08 音声符号化の処理は学齢期の吃音の生起に関与するか
—音節頻度の影響に基づく検討—

福生市立福生第七小学校 高橋 三郎

1P-09 吃音者の話しやすさに影響を与える対話者の態度
—半構造化面接を通して—
聖母療育園 リハビリ科 正木 啓太

1P-10 心因性失声症の改善に寄与する要因の検討
北里大学 医療衛生学部 村上 健

自閉症スペクトラム障害 12:30～13:00(質疑応答)

1P-11 冗談の積み上げ —自閉症の子とゲームでコミュニケーション— その8
NPO 法人コミュニケーション・アシスト・ネットワーク
ことばの相談室ひなたぼっこ 山本 正志

1P-12 特別支援学校における教員との連携 ～ICTの活用を通して～
神奈川県立みどり養護学校 栗島 会理

1P-13 自閉症スペクトラム障害の理解にメディア視聴が与える影響
国際医療福祉大学 成田保健医療学部 言語聴覚学科 岩崎 淳也

1P-14 自閉症スペクトラム障害児の困り感への支援に向けて
—作文作成過程の分析から困り感を探る—
帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科 野村 直子

1P-15 自閉スペクトラム症児とその家族への早期の親子支援プログラム
—プログラムに参加した母親の言葉かけの変化—
NPO 法人 SUN-Tatebayashi 溝江 唯

1P-16 テーブルトーク・ロールプレイングゲームにおける
自閉スペクトラム症児の会話の促進とゲームマスターの役割
東京学芸大学 教育学部 加藤 浩平

1P-17 言語発達障害児の談話の特徴と子どもとの会話に対する親の鋭敏性
熊本保健科学大学 井崎 基博

1P-18 「ことばのつかいかたテスト」は自閉症スペクトラム障害の語用障害を
CCC-2とは異なる視点から同定する
大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 金沢校 水谷 柳子

第2日目 5月12日回

ポスター会場(講義棟3階 3602教室)

聴覚障害 12:00～12:30(質疑応答)

- 2P-01** 言語聴覚士教育における模擬難聴システムを使用した演習の効果
県立広島大学 コミュニケーション障害学科 長谷川 純
- 2P-02** 聴覚障害児の関係節構文における理解力と音読時の韻律情報の活用能力との関係に関する検討
東京学芸大学大学院連合学校 教育学研究科 喜屋武 陸
- 2P-03** ASD を合併する聴覚障害児の談話の特徴：ASD 児との比較を通して
東京学芸大学大学院 岩田能理子
- 2P-04** 聴覚障害児・者におけるコミュニケーションブレイクダウンに関する用語と判定基準及び修復方略の文献的検討
筑波大学大学院 人間総合科学研究科 李 彩環
- 2P-05** 聞き取り困難を主訴とする成人例の要因と心理的問題
国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科 小渕 千絵

人工内耳 12:00～12:30(質疑応答)

- 2P-06** 人工内耳装用者の音楽の聴取経験に関する定性的検討
日本社会事業大学大学院 益子 徹
- 2P-07** 青年期にある人工内耳装用者の自己認識
— 幼児期に人工内耳を選択した装用者へのインタビューから —
在宅ケアサポートみちくさ きこえとことばの相談室 石田 彩
- 2P-08** 青年期にある人工内耳装用者と非装用者におけるワークキャリア観の比較
小田原短期大学 杉中 拓央

2P-09 超早産・超低出生体重児1例の言語発達の変化

重井医学研究所附属病院 新 藍

2P-10 英語学習に困難を示す中高生に対する認知特性に応じた
英単語指導法の効果

北里大学大学院 医療系研究科 上岡 清乃

2P-11 知的障害特別支援学校高等部に在籍する軽度の発達障害生徒への
支援内容を考察する

兵庫教育大学 大学院 学校教育研究科 西村 英晃

2P-12 発達性ディスレクシアの1症例
―何を優先して指導すべきか―

東京医療学院大学 青木さつき

2P-13 ABA(応用行動分析)とJIS絵記号を使用したPECS訓練により
「あげ・もらい行動」までを獲得したASDの一例

児童発達支援事業所 マママとまママ 林 文博

2P-14 選択性緘黙児への文字認識アプリを活用した絵日記指導による
コミュニケーション支援の試み

茨城県つくば市立竹園西小学校 奥沢 忍

2P-15 コミュニケーションサポートブックで施設退所後の生活を
支援する取り組み

大阪整肢学院 リハビリテーション部 富田朝太郎

2P-16 ことばの発達と関係する食事内容についての、集団内での検討

ことばの相談室 のえ 桑原 直子